



日本アカデミック・アドバイジング協会 ニュースレター

No. 10 2025年11月30日発行

日本アカデミック・アドバイジング協会

(Japan Association for Academic Advising : 通称 JAAA)

事務局 : 〒615-8558 京都府京都市右京区西院笠目町6 京都外国語大学 岸岡研究室

Email : info@academic-advising.jp、URL : <https://academic-advising.jp/>

<ニュースレター目次>

- | | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 1) 2025年度 第5回年次大会実施報告 | 4) 教育・学習支援センター紹介
(常葉大学静岡基礎教育センター) |
| 2) 2025年度 定期総会報告 | 5) お知らせ |
| 3) 研修部会の活動報告と今後の予定 | |

<< 日本アカデミック・アドバイジング協会 第5回年次大会実施報告 >>

JAAA第5回年次大会 (2025年度)

大会実行委員長 篠田 雅人 (同志社大学)

2025年8月23日(土)に開催した「第5回年次大会」は、本協会の年次大会としては初の対面開催となりました。本協会の設立時(2021年3月)がコロナ禍にあり、2023年度の第3回大会まではオンライン開催でした。2024年度の第4回開催に際して初の対面開催が企画されましたが、台風による影響を勘案し、やむなくオンライン開催に変更となりました。そのような経緯で迎えた初の対面開催ということで、準備不足・経験不足による不手際を懸念していましたが、幸いにも過去に大会運営の経験を有する複数名が今大会の実行委員となっていたこともあり、手前味噌ではありますが、できる範囲の準備を整えて大会当日を迎えました。そのような状況にあって、当日は、会員・非会員あわせて、当初予想を上回る60名の方にご参加いただきました。

今大会は、学生・教職員の多様化に加え、学習支援者や支援方法が多様化してきている現状を踏まえ、アドバイジングの果たす役割や期待が今後ますます大きくなっていくだろうことを念頭に置き、「多様なStudent Successに寄りそうアカデミック・アドバイジング」をテーマとしました。特に、学生の多様な学習支援ニーズを支えるアドバイザーにとって大切な姿勢である「学生に寄りそう」をキーワードにし、活発な議論を目指しました。

自由研究・実施報告発表では、「組織的な課題(研修・能力開発・教職協働)」「多様な学生」「学習成果」など11件(過去最多件数)の興味深い発表がありました。また、「アドバイザーのためのポートフォリオ作成ワークショップ」「大学の学びに適応し、Student Successを目指す力を育てる～SSP支援ツールを使って『可視化・整理・明確化』を体験しよう～」という2つのテーマ別ワークショップでは、支援の在り方の見直しや支援プロセスを明確化することの重要性について、ポートフォリオや支援ツールを利用したワークを通じて考えていただきました。

「“寄りそう”から生まれる成長—卒業生の語りにみるアドバイジングのかたち」をテーマにしたシンポジウムでは、北星学園大学・大阪経済大学の卒業生・教職員をシンポジスト、島田敬久氏(上智大学)をコメンテーターに迎え、“寄りそう”アドバイジングとは何か、その先のStudent Successとは何か、事例をもとに深掘りし、アカデミック・アドバイジングの可能性を展望しました。予定調和ではないリアルな発表(本当です!)と確かな識見に基づく実践者のコメントに支えられ、フロアを含めて充実したディスカッションがなされました。ただ、モデレーターの不手際により、まとめの時間が不足してしまったため、不完全燃焼感が残ってしまった点はこの場をお借りしてお詫びします。

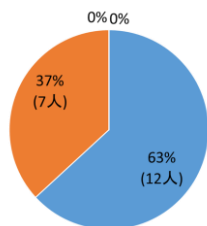
年次大会終了後には情報交換会を開催し、大会本体における議論の続きを含め、参加者同士の有意義な交流機会となりました。

最後に、ご参加いただいたみなさまには、円滑な大会運営にご協力いただきましたこと、改めて感謝申し上げます。今大会が今後の会員相互の交流活性化の一助となれば幸いです。来年度の年次大会にも是非ご参加ください。

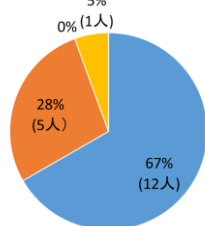
《参加者アンケートの結果》

19名の参加者からご回答いただきました。貴重なご意見をありがとうございます。

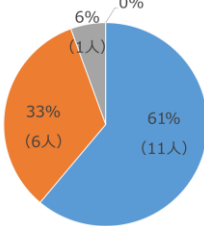
【全体満足度】



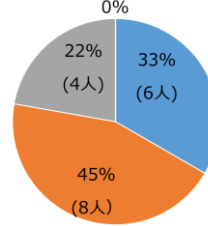
【自由研究・実践報告発表】



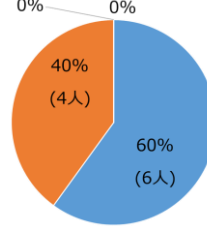
【テーマ別ワークショップ】



【シンポジウム】



【情報交換会】



■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満

自由記述では、今大会の①「良かったところ」、②「改善した方がよいところ」、③「協会・年次大会に期待すること」についてご意見をいただきました。それぞれの主なご意見は次のとおりです。

①「良かったところ」

- ・ピアの学生さんや院生さんが臨機応変に対応してくださって、大変勉強になりました。（会場以外に誘導で挨拶してくださった学生さんや院生さんの姿勢がとても良かったです）
- ・京都市内・駅近という立地で開催いただき、利便性に加えて、小ぢんまりとアットホームな雰囲気で大会が行われており、素晴らしかった。
- ・要所所でコメンテーターの的確な解説があり、疑問に感じた点を即座に解消してくださるため、理解が進みました。
- ・さまざまな準備（ホテル確保なども）や当日運営は、ホスピタリティが感じられました。
- ・名札に参加予定のワークショップの番号や情報交換会参加有無が明記してあった点。

②「改善した方がよいところ」

- ・大会を2日間に分けてもいいのでは、と思いました。
- ・ワークショップ会場に音響設備(マイク)がなかったこと
- ・「大会」と「情報交換会」の参加申し込み(および支払い)が別々にできず、当日に何度もご対応いただくことになりました。事前に明記していただければご面倒をお掛けせずに済んだかと思えます。
- ・資料の共有がなかった発表者の資料が投影されていたが、非常に見つらかった。

③「協会・年次大会に期待すること」

- ・シンポに学生さんが参画している姿が、とても勉強になりました。さらに学生さんや院生さんが、気軽に参画していただけるようなシステムにしていだけますと幸いです。
- ・より実践的かつ継続的なスキル獲得につながる研修を検討・開発いただけることを期待します。
- ・研究発表の資料ですが、事前ではなく発表本番の冒頭でのご案内になっても全然構いませんので、（共有可能なものは）できるだけ指定の場所にアップロードしていただければと思いました。

大会運営にご助言・ご協力くださった役員・関係者のみなさまに改めて御礼申し上げます。今後の大会がより活発で有意義なものになりますよう、大会実行委員会への積極的なご参加をお願いいたします。



＜自由研究・実践発表の様子＞



＜シンポジウムの様子＞

❀ 本協会では昨年度より大会実行委員を協会内で広く公募し、会員有志にて企画・運営いただいています。大会実行委員に立候補していただいた小林 忠資 氏（岡山理科大学）、篠田 雅人 氏（同志社大学）、田中 美也子 氏（大阪経済大学）、深谷 麻未 氏（名古屋大学）、松本 清 氏（東京科学大学）、李 瑾 氏（中京学院大学）（以上、姓のあいうえお順）に心より感謝申し上げます。

日本アカデミック・アドバイジング協会 2025年度定期総会 議事録

JAAA事務局

【総会報告】

日本アカデミック・アドバイジング協会では、2025年度定期総会を、第5回年次大会時に以下の通り開催しましたのでご報告します。

- (1)開催日時：2025年8月23日（土）15時15分～15時45分
- (2)開催場所：同志社大学今出川キャンパス 良心館3階305
- (3)出席数：61名（理事・幹事含め39名、（委任状22名）
- (4)議事内容（司会：御厨 まり子事務局長、議長：清水 栄子会長）

定刻となり、総会において司会を務める事務局長の御厨まり子が総会開会を宣言し、清水会長からの挨拶があった。続いて、司会より総会の議長について、会則13条第3項の「総会の議長は、会長がこれを務める。」により、議事進行を清水会長が行った。

i) 総会の定足数について

事務局長より、本総会は、第13条5項により「総会は、個人会員の総数の2分の1以上の出席により成立」と定められており、本日の年次大会出席39名、議長への委任状22名で、会員104名の総数の半数を超え、総会が成立することが報告された。

ii) 第1号議案「2024年度事業報告・収支決算報告」の件

事務局長より、第1号議案「2024年度事業報告・収支決算報告」について説明した後、監事 池田輝政会員より、「監査の結果、事業、決算が適正であることを確認した」との報告を行った。

本件に関する質疑、意見はなく、議長が2024年度収支決算承認の件について諮ったところ、異論なく承認可決された。

iii) 第2号議案「2025年度事業計画・予算案」の件

事務局長より、第3号議案「2025年度事業計画・予算案」について説明があった。説明後、本件に関する質疑、意見はなかった。また来年度は役員改選年度となり3月に選挙管理委員会が設置される旨の説明もあった。議長より、事業計画・予算案について諮ったところ異論なく承認された。

iv) その他

議長より、2つの議案以外に、その他会員から総会において審議することがあるか確認したところ、特に申し出はなかった。以上を受け、議長が全ての議事の終了を宣言した。

総会終了後、馬本理事より、本年度の『研究誌』発行について、年次大会終了後に原稿募集を行う旨説明があり、会員からの応募を呼び掛けた。



□研修部会の活動報告と今後の予定（ご案内）

研修部会長 清水栄子（愛媛大学）

本年度の研修部会では、テーマ「アカデミック・アドバイジング再考」に基づき、アドバイザーの専門性や実践知を多角的に考える企画を実施しています。これまでに開催したサロンおよび研修の概要と、今後の予定をご紹介します。

■第1回JAAAサロン

「あなたとアカデミック・アドバイジングとの出会い」

【オンライン】2025年5月23日（金）19:00～20:30／参加者：12名

アドバイジングに対する思いやこれまでの経験を自由に語り合う交流の場として開催しました。会員になって間もない方や、初めて参加された方も多く、互いの実践や他大学の取組に関する意見交換が活発に行われました。

■年次大会ワークショップ

「アドバイザーのためのポートフォリオ作成ワークショップ」

【対面】2025年8月23日（土）13:00～15:00

講師：研修部会メンバー／参加者：22名

アドバイジング活動を振り返り、今後の方針や課題を明確にすることを目的に、ポートフォリオの意義や活用方法を紹介しました。ワークシートを活用し、アドバイザーとしての支援方針（理念）の言語化を、個人ワークおよび参加者間のディスカッションを通して行いました。



＜年次大会ワークショップの様子＞

■第2回JAAAサロン

「アカデミック・アドバイジングとIR（Institutional Research）」

【オンライン】2025年10月20日（月）19:00～20:30／講師：杉田 郁代（高知大学）／参加者：19名

学生一人ひとりのニーズに寄り添った支援を行うためには、個別支援に加えて組織的なアドバイジングの視点も不可欠です。杉田先生から「自大学の持つデータに目を向けてみませんか？」という問いかけを起点に、データを用いた事例紹介と解説が行われました。続いて、架空のケースとデータを用いたグループディスカッションを通じて、IRとアドバイジングの連携に関する課題や展望を共有しました。

《今後の予定（ご案内）》

■第3回JAAAサロン：「アカデミック・アドバイザーは専門職か？」

【オンライン】2025年12月8日（月）19:00～20:30

【参加費】会員：無料

【申込方法】こくちーずよりお申込みください：<https://kokc.jp/e/20251208/>

※申込期限：2025年12月5日（金）

■第2回研修会

「学生支援から教育設計へーアドバイザーの“現場知”とカリキュラムマネジメント」

【対面】2026年2月14日（土）13:00～17:00（17:00から情報交換会）

会場：北九州市立大学 北方キャンパス フランキー・ウー・アジア国際交流ホール
（〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方4-2-1）

【内容】

学生支援・学習支援の最前線に立つアドバイザーが、なぜカリキュラムマネジメントに貢献できるのか。その背景にあるアドバイザーの能力や知見を、事例を通して考えることを目指します。アカデミック・アドバイザーはもちろん、アドミッションセンター、学生課、教務課、国際交流、学部教員、学生相談室、保健センター、学習支援、キャリアセンター、IRなど、幅広い分野の方々にご参加いただけると幸いです。

【対象】このテーマに関心のあるすべての方

【申込方法】こくちーずよりお申込みください

<< 活動紹介 >>

このコーナーでは、アカデミック・アドバイジングに関する会員の活動をご紹介しますが、今回は、会員との交流により活発な活動が展開されている常葉大学の山本 六三氏からご寄稿いただきました。皆さまの活動の参考にしていただければと思います。

常葉大学静岡基礎教育センターの活動紹介

山本 六三（常葉大学）

常葉大学静岡基礎教育センター（以下、センター）は、多様な学習歴・資質を持って入学してくる学生に対して、入学前から卒業までの学修を支援することを目的に、2018年4月に静岡草薙キャンパス開設と同時に設置されました。活動として、早期に入学が決まった合格者への入学前準備教育、基礎学力を伸ばすためのリメディアル教育や個別の学修相談を実施しています。

2023年からは、身近な学生同士で学び合う学修ピアサポート活動を加え、新入生を対象とした履修相談会やスケジュール管理講座を開催し、徐々に活動を拡大しました。2025年からは、不定期開催だったサポーター連絡会を月1回の定例開催として、サポーター同士の交流の時間を増やしました。その結果、当事者意識の醸成につながったようで、サポーター発案による「学生と教職員の気軽な座談会」、「起立性調節障害の理解のための映画上映会」や「LGBTQ+の理解に関連する展示会」を開催したり、入学前準備教育スクーリングの改善のために登壇を申し出たりするサポーターが新たに増えてきて、センターとともに多様な学生ニーズに先駆的に応えています。

さらに、学修ピアサポーター向けの研修（コミュニケーション講座等）は、学祭実行委員やオープンキャンパス学生スタッフ等の学内ボランティア参加者も対象とすることで、学内活動をしている学生同士の交流も増えてきたところです。

また、センターの新規事業として、前後期の成績発表に合わせて「落とした単位の相談室」を開設しています。今のところ、相談者の9割は1,2科目が不可となった1年生で、相談をきっかけに別の悩みを打ち明けるケースが多くあります。具体的には奨学金、就職活動、教員免許、家族・友人関係などで、必要に応じて担当部署に同行するなど、センターが学内相談機関のハブ的な役割を担うことも増えてきました。

今後も、サポーターとともに、多様で複雑な学生ニーズに先駆的に応えていきたいと考えています。常葉大学静岡基礎教育センターの主な活動は、インスタグラム（下のURLまたはQRコード）をご覧ください。

<https://www.instagram.com/szkisokyo/>



<< JAAA役員及び各種委員会・部会メンバー >>

2025年度のJAAA役員及び各部会・各委員会メンバーは、次のとおりです。

部会等	委員氏名（所属大学）
会長 副会長、理事 理事 理事 理事 事務局長 （事務局） （事務局） （監事） （監事）	清水 栄子（愛媛大学） 山田 剛史（関西大学） 山崎 めぐみ（創価大学） 馬本 勉（県立広島大学） 私市 佐代美（武庫川女子大学） 御厨 まり子（明星大学） 岸岡 洋介（京都外国語大学） 岸岡 奈津子（立命館大学） 池田 輝政（U&Cストラテジー） 秦 敬治（倉敷芸術科学大学）
研修部会	◎清水 栄子（愛媛大学） 岡田 強志（東京通信大学）※、川村 和弘（北九州市立大学）※ 杉田 郁代（高知大学）※、福 博充（創価大学）※ 御厨 まり子（明星大学）
研究部会	◎山田 剛史（関西大学） 木原 宏子（創価大学）※、嶋田 みのり（東北学院大学）※ 宝来 華代子（崇城大学）※
広報部会	◎私市 佐代美（武庫川女子大学） 田中 美也子（大阪経済大学）※、松田 優一（関西大学）※ 芳中 宗一郎（大阪産業大学）※
年次大会実行委員会	◎篠田 雅人（同志社大学）※ 田中 美也子（大阪経済大学）※、深谷 麻未（名古屋大学）※ 松本 清（東京科学大学）※、李 瑾（中京学院大学）※
編集委員会	◎馬本 勉（県立広島大学） 嶋田 みのり（東北学院大学）※、竹山 優子（筑紫女学園大学）※ 宝来 華代子（崇城大学）※、私市 佐代美（武庫川女子大学）

◎：実行委員長、部会長 ※非役員



<< お知らせ >>

編集委員長 馬本 勉

協会誌『アカデミック・アドバイジング研究』第4号発刊予定

『アカデミック・アドバイジング研究』第4号(Journal of Academic Advising in Japan, No. 4)は、2026年3月末にWeb上での発行を予定しています。

JAAA会員への先行発行としており、次号の『ニュースレターNo.11』及びJAAAサイトでお知らせします。第4号の投稿者ならびに編集協力者の皆さまに、お礼を申し上げます。

✿ 協会誌投稿スケジュールについて

- ・ 協会誌『アカデミック・アドバイジング研究』への投稿案内は、例年8月末の年次大会直後に行います。
- ・ 事前に投稿申込(9月末日)いただき、11月中旬を目途に投稿原稿を提出いただいています。
- ・ その後の査読結果により協会誌への掲載可否を決定し、掲載可能な原稿について3月末に発行します。



<< 掲示板 >>

1) 会費納入のお願い

2025年度の会費(3,000円)が未納となっている方は、必ず3月末日までにお支払いください。お振込みの際には、お名前の前に会員番号を記載してください(ご不明な場合は、不要です)。

=====

○ゆうちょ銀行【記号】11390【番号】16649071

○他の金融機関からの振込みをされる場合

株式会社ゆうちょ銀行【店名】一三八(読み イチサンハチ)

【金融機関コード】9900、【店番】138

【預金種目】普通預金、【口座番号】1664907

○こくちーずからのお振込は下記URLよりお願いします。

<https://kokc.jp/e/jaaa20240331/>

=====

2) 所属先・住所等の変更連絡のお願い

お届けの所属先や住所などに変更がある場合は、JAAA事務局までお知らせください。

3) また退会を希望される場合は、学会HP「協会について」の「個人会員 退会届」をダウンロードいただき、退会理由を明記の上、JAAA事務局までメールでご提出をお願いいたします。

< 編集後記 >

今年も残すところ1カ月となり、師走の気配を感じるようになりました。2025年最後のニュースレターをお送りします。大会の熱かった(暑かった)あの日に思いを馳せ、大会での学びを皆様の実践に今一度生かしていただければと思います。

今年も残り少なくなりました。皆さま、どうぞ良いお年をお迎えください。(編集担当: 松田)

日本アカデミック・アドバイジング協会

(Japan Association for Academic Advising: 通称 JAAA)

事務局: 〒615-8558 京都府京都市右京区西院笠目町6

京都外国語大学 岸岡研究室

Email: info@academic-advising.jp、URL: <https://academic-advising.jp/>